

6月に向けて

代表取締役 三田雅憲

2025年4月13日、55年ぶりに大阪・関西万博が開幕しました。テーマが8つあり、いのちを「知る」「育む」「守る」「紡ぐ」「広げる」「高める」「磨く」「響き合わせる」ということでスタートを切りました。5月16日現在までで累計来場者数3,783,623人、1日の来場者は128,000人で、10万人を連日こえて入場しているようです。当社もサウジアラビア館などを手掛けており、またサイネージ広告でも広報しています。一度訪れてみたいものです。

このようなテーマパークで2025年7月25日に沖縄県やんばるに開園を予定しているのがUSJでV字回復を成し遂げた森岡毅氏率いる株式会社「刀」という会社です。こちらは「パワーバカンス」をテーマに掲げ「大自然の中で真にリアルなエンターテインメントを全身で体感できる」ことをコンセプトとするテーマパークだそうです。広大なゴルフ場跡地(60ヘクタール、東京ドーム13個分)に地元の企業(サンエー・沖縄銀行・沖縄電力など)が7割をしめて沖縄の経済振興につなげる為に出資しているようです。私も娘が2年程沖縄でお世話になりましたので、この事業が沖縄の人々に実利をもたらすことを期待しています。沖縄のこの地区(本部町や今帰仁村・名護)にはホテルの数がまだまだ少なく、道路も狭い、電車がないなど、克服していかなければならないインフラの問題で、前途多難な部分も多く、現に森岡氏がUSJに在籍していた時の親会社である米コムキャストからは戦略の見直しそして、事業の中止を余儀なくされています。その後2017年にUSJを退任し「(株)刀」を設立、夢実現の為に2018年に再び沖縄のテーマパーク事業構築を発表しました。森岡氏は市場構造の数字的な解析や需要予測モデルをP&G在職時代に磨いてきたようですが本当にこのような数字的な発想だけで成功するかはやってみないと分からないと思います。ただ、その情熱は素晴らしいものがあると考えます。総事業費は700億とも呼ばれており、大変な費用だと思います。いままでどちらかと言えば国や公共主体で箱ものが作られてきた沖縄にとって民間でこれだけの施設や経済効果(15年で6兆8000億、雇用創出は88万人と試算)のある投資は少ないと思います。日頃から、技術も大切ではあるが、それ以上に情熱が大切であると思っています。私どもも2030年に岐阜に工場を建てるという大きな目標を掲げています。その為に今から取り組んでいくことは、様々なこと(技術力や営業力の強化、DX化、中部地区の販促拡大など)が山積みではありますが、「当社の技術に関西、関東のみならず、中部へも」の精神で頑張っていきたいと思っています。社員皆様の協力も必要となるかもしれません。よろしくお願いいたします。

また、今年入社された新人のTさんが大変仕事に熱心でとてもうれしく感じます。このような新人が私どもの仲間になってくれたことに感謝しながら、一日一日頑張っていってほしいと思います。また、5月より2名の方が管理職として頑張ってくれています。新しい管理者を皆さんでサポートし、新しい光栄プロテックを創出していただきたいと思います。